



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場会社名 帝国繊維株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3302 URL <http://www.teisen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 飯田 時章
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阪田 繁 TEL 03 (3281) 3022
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	13,080	△40.7	1,174	△80.7	1,339	△78.5	810	△78.8
26年12月期第2四半期	22,061	45.6	6,088	130.2	6,219	128.4	3,825	125.1

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 96百万円 (△91.8%) 26年12月期第2四半期 1,185百万円 (△84.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	30.95	30.70
26年12月期第2四半期	146.12	145.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第2四半期	53,499	40,677	75.5	1,543.72
26年12月期	58,319	41,243	70.5	1,570.03

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 40,413百万円 26年12月期 41,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	△11.4	5,400	△34.1	5,500	△34.8	3,500	△32.3	133.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	27,121,400株	26年12月期	27,121,400株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	941,887株	26年12月期	941,634株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	26,179,686株	26年12月期2Q	26,180,164株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、積極的な経済政策や金融政策を背景に、雇用・所得環境が改善し個人消費も持ち直しつつありますが、不安定な海外経済の影響などもあり、不透明な状況で推移いたしました。

東日本大震災以来、防災・減災対策の在り方・概念そのものが根本から見直される大きなうねりの中で、国・地方自治体はもとより、産業基盤を担いあるいは危険物等を取り扱う民間大手企業など、官民挙げての防災・減災対策が実施されてまいりました。

特にここ3年、当社グループは、消防防災の大きなテーマでもある緊急消防援助隊の増強、消防団を中核とした地域防災力の充実強化、大規模地震に備えた減災対策などに向けて、それぞれに相応しい防災資機材・装備・特殊車両のご提案など、積極的に応需してまいりました。また、民需防災の分野でも、多数の原子力発電所を擁する電力会社を中心に、新たな防災・減災システムをご提案し幅広く採用されましたことから、それらの売上が当社グループの業績を大きく牽引し、昨年・一昨年と2期連続で既往最高の業績を挙げる原動力となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上予定の一部下期へのずれ込みなどもありましたが、通期では、期初に発表しております業績予想に沿った相応の実績を挙げ得るものと考えております。

国を挙げての防災・減災の流れを受けて、防災事業の裾野は格段に広がっており、総合防災事業を事業の中核に据える当社グループと致しましては、現在推進中の中期経営計画「帝国繊維（テイセン）2016」の完遂を通して、エネルギー施設・産業基盤・重要施設の安全対策、今後懸念されるテロ対策・薬物対策・新たな感染症対策など、その社会的使命を果たしてまいり所存です。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は以下のとおりであります。

<防災>

空港用化学消防車などが売上を伸ばしましたが、前年同期の業績に寄与した官公庁向け防災資機材や電力会社など民間企業向けの大型防災資機材などが大きく落ち込んだ結果、売上高は97億5千8百万円（前年同期比46.7%減）となりました。

前年同期の業績拡大に貢献した大型防災資機材・装備・特殊車両のほか、防災・減災システムにつきましては、エネルギー・産業基盤災害対策推進の流れを受けて、引き続き堅調な需要が見込まれています。

<繊維>

民間企業向けの難燃生地や防護衣料用生地などが売上を伸ばしましたが、前年同期の売上に貢献した官公庁向け繊維資材の落ち込みなどもあり、売上高は30億3百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

<不動産賃貸・その他>

不動産賃貸事業は概ね順調に推移しており、売上高は3億1千8百万円（前年同期比3.3%減）となりました。また、その他事業に含まれておりました遊技場の経営は平成27年6月末をもって業務を中止いたしました。業績への影響は軽微であります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は130億8千万円（前年同期比40.7%減）、営業利益は11億7千4百万円（同80.7%減）、経常利益は13億3千9百万円（同78.5%減）、四半期純利益は8億1千万円（同78.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産が48億2千万円減少し、534億9千9百万円となりました。

これは主として、売上債権の減少や保有上場株式の含み益の減少などがあったことによるものです。

負債は、未払法人税等の減少や繰延税金負債の減少などがあり、前連結会計年度末と比べ42億5千4百万円減少し、128億2千1百万円となりました。

純資産は、保有上場株式の含み益が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ5億6千5百万円減少し、406億7千7百万円となりました。

この結果、自己資本比率は75.5%となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、43億7百万円増加し、91億1千1百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動による資金の収入は、税金等調整前四半期純利益の減少などにより、前年同期に比べ71億8千4百万円減少し、13億7千9百万円となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動による資金の収入は、譲渡性預金等での運用により、前年同期に比べ93億3千7百万円増加し、37億2千6百万円となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動による資金の支出は、配当金の支払や長期借入金の返済などがあり、前年同期と同水準の7億9千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年度の通期業績予想につきましては、平成27年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,156,209	8,464,163
受取手形及び売掛金	6,715,864	3,892,462
有価証券	11,999,720	10,999,802
商品及び製品	3,678,705	3,026,390
仕掛品	961,874	974,579
原材料及び貯蔵品	405,434	492,791
繰延税金資産	128,853	188,263
その他	311,445	542,106
貸倒引当金	△249	△176
流動資産合計	31,357,857	28,580,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,923,678	1,862,657
機械装置及び運搬具（純額）	263,277	245,086
工具、器具及び備品（純額）	158,196	174,869
土地	261,480	261,480
建設仮勘定	542,052	626,636
有形固定資産合計	3,148,684	3,170,729
無形固定資産		
借地権	899	899
その他	66,768	64,280
無形固定資産合計	67,667	65,180
投資その他の資産		
投資有価証券	23,385,452	21,308,573
繰延税金資産	29,315	28,162
その他	330,364	346,026
投資その他の資産合計	23,745,132	21,682,762
固定資産合計	26,961,485	24,918,672
資産合計	58,319,342	53,499,056

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,089,508	2,745,217
1年内返済予定の長期借入金	44,200	66,200
未払法人税等	1,794,079	511,806
役員賞与引当金	72,000	40,500
その他	796,338	758,104
流動負債合計	6,796,126	4,121,828
固定負債		
長期借入金	155,800	117,200
長期預り保証金	981,516	951,687
繰延税金負債	8,195,523	6,744,986
退職給付に係る負債	107,920	103,496
資産除去債務	109,157	109,202
長期末払金	329,230	328,830
その他	400,269	343,939
固定負債合計	10,279,416	8,699,343
負債合計	17,075,543	12,821,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,387,098	1,387,098
資本剰余金	761,469	761,469
利益剰余金	24,568,936	24,593,775
自己株式	△373,480	△373,965
株主資本合計	26,344,023	26,368,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,640,870	14,006,602
繰延ヘッジ損益	118,066	38,760
その他の包括利益累計額合計	14,758,937	14,045,363
新株予約権	140,839	264,144
純資産合計	41,243,799	40,677,884
負債純資産合計	58,319,342	53,499,056

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年6月30日）
売上高	22,061,370	13,080,956
売上原価	13,996,042	9,959,826
売上総利益	8,065,328	3,121,129
販売費及び一般管理費	1,976,701	1,946,461
営業利益	6,088,627	1,174,667
営業外収益		
受取利息	4,110	6,741
受取配当金	90,711	147,837
持分法による投資利益	140	417
特許関連収入	20,300	—
その他	21,802	12,584
営業外収益合計	137,065	167,580
営業外費用		
支払利息	2,047	2,549
為替差損	2,159	—
その他	1,666	177
営業外費用合計	5,873	2,726
経常利益	6,219,819	1,339,522
特別利益		
固定資産売却益	8,954	17
特別利益合計	8,954	17
特別損失		
固定資産処分損	2,976	1,195
その他	—	7,328
特別損失合計	2,976	8,523
税金等調整前四半期純利益	6,225,797	1,331,016
法人税、住民税及び事業税	2,598,630	540,313
法人税等調整額	△198,244	△19,529
法人税等合計	2,400,385	520,784
少数株主損益調整前四半期純利益	3,825,411	810,232
四半期純利益	3,825,411	810,232

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,825,411	810,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,471,344	△634,268
繰延ヘッジ損益	△168,402	△79,305
その他の包括利益合計	△2,639,746	△713,573
四半期包括利益	1,185,664	96,658
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,185,664	96,658

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,225,797	1,331,016
減価償却費	186,823	168,789
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,318	△72
受取利息及び受取配当金	△94,822	△154,579
支払利息	2,047	2,549
持分法による投資損益（△は益）	△140	△417
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△36,000	△31,500
退職給付引当金の増減額（△は減少）	23,155	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	—	△4,423
株式報酬費用	93,280	123,305
固定資産処分損益（△は益）	△5,977	1,177
売上債権の増減額（△は増加）	4,590,294	2,856,808
たな卸資産の増減額（△は増加）	687,058	552,252
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,949,331	△1,709,164
預り保証金の増減額（△は減少）	△30,175	△29,851
長期未払金の増減額（△は減少）	—	△400
その他の流動資産の増減額（△は増加）	5,154	7,311
その他の流動負債の増減額（△は減少）	267,620	△1,586
その他	△92,786	△73,365
小計	9,867,679	3,037,849
利息及び配当金の受取額	93,946	154,749
利息の支払額	△2,263	△2,543
法人税等の支払額	△1,967,307	△1,810,192
補償金の受取額	571,848	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,563,902	1,379,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,201,302	△2,352,219
定期預金の払戻による収入	4,000,000	2,351,737
有価証券の取得による支出	△7,999,420	△7,999,592
有価証券の償還による収入	3,000,000	12,000,000
有形固定資産の取得による支出	△414,368	△265,811
有形固定資産の売却による収入	8,954	17
有形固定資産の除却による支出	△410	△2,558
無形固定資産の取得による支出	△4,560	△3,936
貸付金の回収による収入	42	40
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,611,066	3,726,207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	720,000	720,000
短期借入金の返済による支出	△720,000	△720,000
長期借入金の返済による支出	△38,600	△16,600
自己株式の取得による支出	△421	△484
配当金の支払額	△780,506	△781,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△819,528	△798,598
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,133,307	4,307,471
現金及び現金同等物の期首残高	5,135,693	4,804,471
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,269,000	9,111,943

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年1月1日至平成26年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	防災	繊維	不動産賃貸	その他	計	調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	18,299,877	3,432,334	230,554	98,603	22,061,370	—	22,061,370
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,768	39,768	9,300	—	51,836	△51,836	—
計	18,302,646	3,472,102	239,854	98,603	22,113,207	△51,836	22,061,370
セグメント利益	6,296,310	227,802	166,377	255	6,690,745	△602,118	6,088,627

- （注） 1. セグメント利益の調整額△602,118千円には、セグメント間取引消去3,851千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△605,970千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年1月1日至平成27年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	防災	繊維	不動産賃貸	その他	計	調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	9,758,859	3,003,681	227,443	90,971	13,080,956	—	13,080,956
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,641	28,952	9,300	—	48,894	△48,894	—
計	9,769,501	3,032,634	236,743	90,971	13,129,850	△48,894	13,080,956
セグメント利益	1,378,179	277,076	163,204	825	1,819,286	△644,618	1,174,667

- （注） 1. セグメント利益の調整額△644,618千円には、セグメント間取引消去1,362千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△645,981千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。